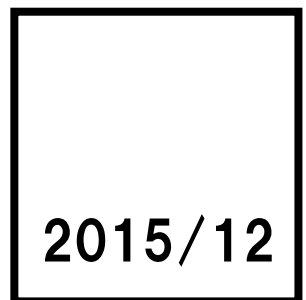




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。



ロゴマーク（マークや社章など）はその会社を印象付ける大切な意味を持っています。多くの企業がロゴマークを使っています。ロゴマークから社名が浮かぶ、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ひとくちにロゴマークといっても動物であったり、幾何学的なものであったり、社名をもじったりと様々です。

創業時からずっと同じロゴマークを用いている企業もあれば、少しずつ、または大胆に変化させている企業もあり、ロゴマークから時代を感じることもできます。今回はテーマを絞り、飲食関係の企業のロゴマークをご紹介します。

江崎グリコのトレードマークが作られたのは1923年頃。子供がはつらつと両手を大きく上にあげてゴールインする姿を見て、創業者の江崎利一は「これだ！」と心のなかで叫んだそうです。動物のマーク案とともに近くの小学校に持っていくと、人気投票をしてみると、ゴールインマークの支持が圧倒的であり、商標が決定されました。しかし、初期のマークは「顔が怖い」という女学生たちの指摘もあり、その後、オリンピックに出場した選手たちを参考にし、にこやかなゴールイン姿となりました。

※『創意工夫 江崎グリコ70年史』

(1992年刊行)より。

森永製菓のエンゼルマークは1905年に天童印として初めて登場し、その後時代に合わせて少しずつ姿を整え「おいしさのしさすこやかさ」のシンボルとして親しまれています。

最初のエンゼルマークは、まず、店の看板用として商標登録され、その後すぐにすべての製品に、このマークを登録しました。天国の糧を届けることをイメージし、創業者の森永太郎氏のイニシャルMとTをエンゼルが握った図案となっています。

現在の森永のエンゼルマークは1986年に誕生しました。森永のMを基本フォルムとし、天を仰いで両翼で大きくはばたく様子を表しています。

※『森永製菓100年史』

(2000年刊行)より。

(裏面につづく)

飲食関係のロゴマーク

(表面から続く)

○

虎屋のマークは虎です。1970年に、江戸時代の雛井籠(ひなせいろ)に描かれていた五匹の虎をあしらったシヨッピングバッグを製作しました。この虎のデザインは、1973年から、羊羹や最中など、大部分の主力商品の箱デザインにも取り入れられ、虎屋イメージをアピールするシンボルとして今日まで受け継がれています。

また、CI (Corporate Identity) が導入され、1983年には「総合的企業のイメージ作りプロジェクト」を発足しました。それまで永年使用してきた環虎(かんとら/タンスの取手の環で虎の字を囲んだ紋)のマークを弁柄(べんがら)色に、暖簾などの「とらや」の文字を黒字に統一することにしました。見直すことには社内でも反対があったようですが、「虎屋が今後どうありたいのか」という視点をお客様に明確に伝えられるよう、経営理念の再構築が図られました。

※『虎屋の五世紀〜伝統と革新の経営』

(2003年刊行) より。

○

現在もサントリーのウイスキーなどのラベルに描かれている向かい合った2頭のライオン(向獅子)のマークは、創業間もない頃から使用されていました。社史には多くの創業期のラベルが掲載されていて、ジンジャーエールやシャンペンサイダーにも向獅子のマークが用いられていました。このマークの着想は、おそらく創業者の鳥井信治郎のものであったに相違ないとも記されています。1910年には背中に翼を持つライオンが地球を抱える「地球獅子印」も商標登録されています。

1990年4月からは、漢字の「響」という文字をデザインした新しいコーポレートマークが導入されました。社名ロゴも一新し、二十一世紀という新しい時代を迎える舞台を整えました。

現在のコーポレートマークは、公式ホームページによると、水をモチーフにした文字のマークとなっています。

※『やってみなはれ サントリーの70年 1』(1969年刊行)、『日々に新たに

「サントリー百年誌」』(1999年刊行)より。

○

ブルドックソースのブルドッグは、1909年に商標登録されています。当初は犬のマーク(犬首印)でしたが、他社の狼印と紛らわしかったので、ブルドッグを用いることになりました。ウスターソースはイギリスが発祥であり、ブルドッグはイギリスの国犬でした。ソースもブルドッグと同様に広く愛されるようにという意を込めたそうです。

※『ブルドックソース55年史』

(1981年刊行) より。

● 普段、何気なく目に留まったり、当たり前のように浸透していたりする企業のロゴマークですが、その意味について深く考えたことはありませんでした。ロゴマークはいずれも想いを込められて作られたものばかりであるのに、それを知らずにいたことが残念で、またこの機会に改めて知ることができてうれしく思います。

(科学情報課・松永)

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

〒210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4 電話：044-233-4537

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>